

がん放射線療法看護認定看護師

放射線療法は、手術療法・化学療法とならび、がん治療の3本柱のひとつです。手術療法、化学療法との組み合わせや症状緩和にも広く利用されるようになりました。私は、2012年にこの認定資格を取得し、活動を始めました。放射線療法を受ける患者・家族のセルフケア能力を高め、安全な放射線治療の実施と完遂を支援したいと考えています。

がん放射線療法看護認定看護師には、以下の3つの役割があります。

- ・がん放射線療法を受ける患者とその家族に対して、治療が安全・確実に、かつ継続して行えるための個別的、全人的な看護実践を提供する
- ・がん放射線療法看護の専門的知識と実践力を基盤として、看護スタッフの指導・相談を行う能力及び関連する他職種と協働する
- ・がん放射線療法看護における臨床実践能力を自律的に向上する

がん放射線療法看護認定看護師

堀川 朝子(検査治療外来 放射線治療外来)

私は、放射線治療外来で看護実践を行っています。放射線療法を受ける患者が安全に治療を受け、完遂できるよう、まずは以下のことを心がけています。

- ・がん放射線療法の効果と有害事象についてアセスメントし、効果的な予防と症状緩和ができる
- ・患者にとって最大の治療効果と必要な安全・安楽を確保するために放射線療法の環境を整備することができる
- ・がん放射線療法看護の実践を通して役割モデルを示し、看護スタッフに対する具体的指導や相談を行うことができる